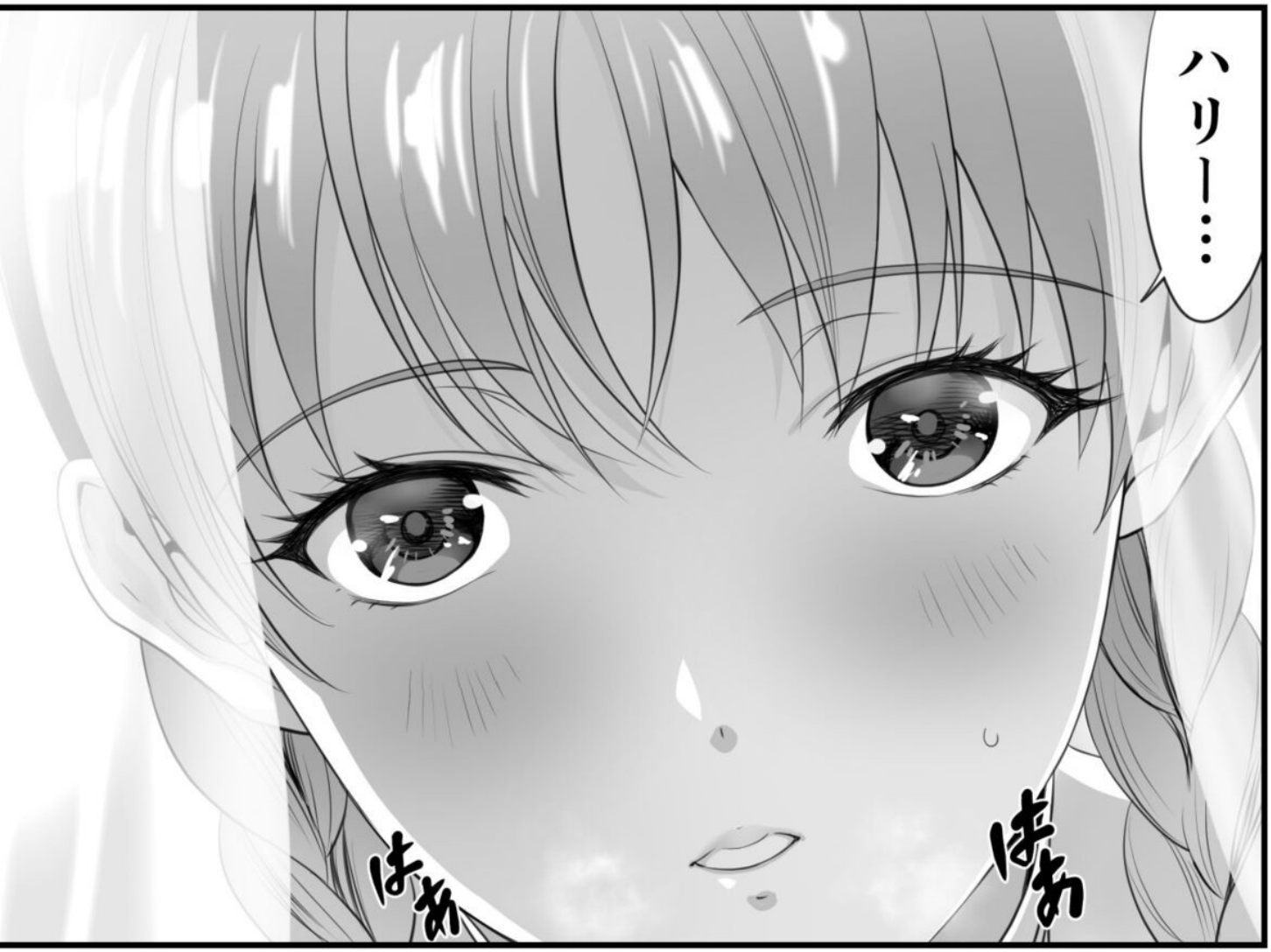
ホシゾラ

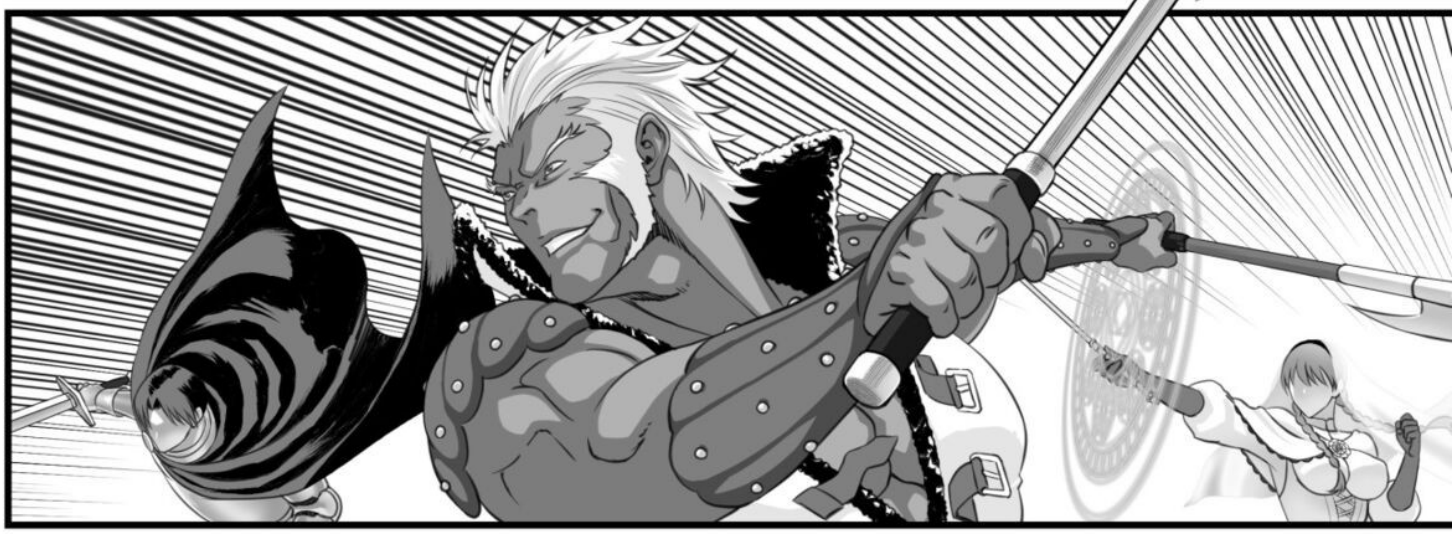
あんなもの
見せられたら
私…
もう…

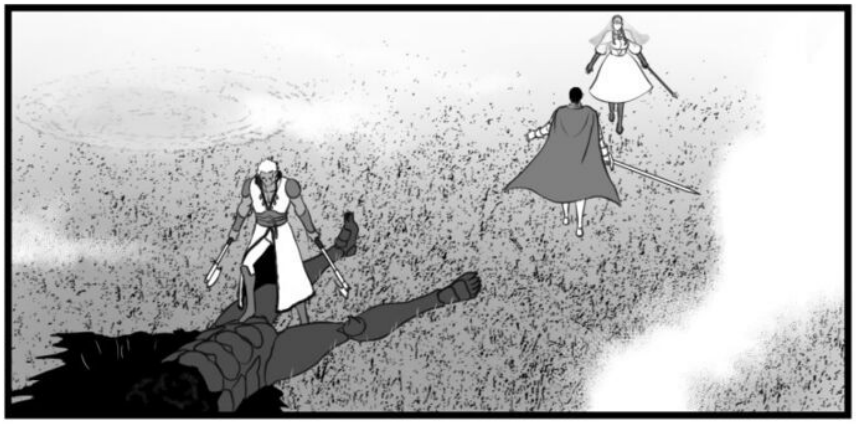

ハリー…
はあ
はあ

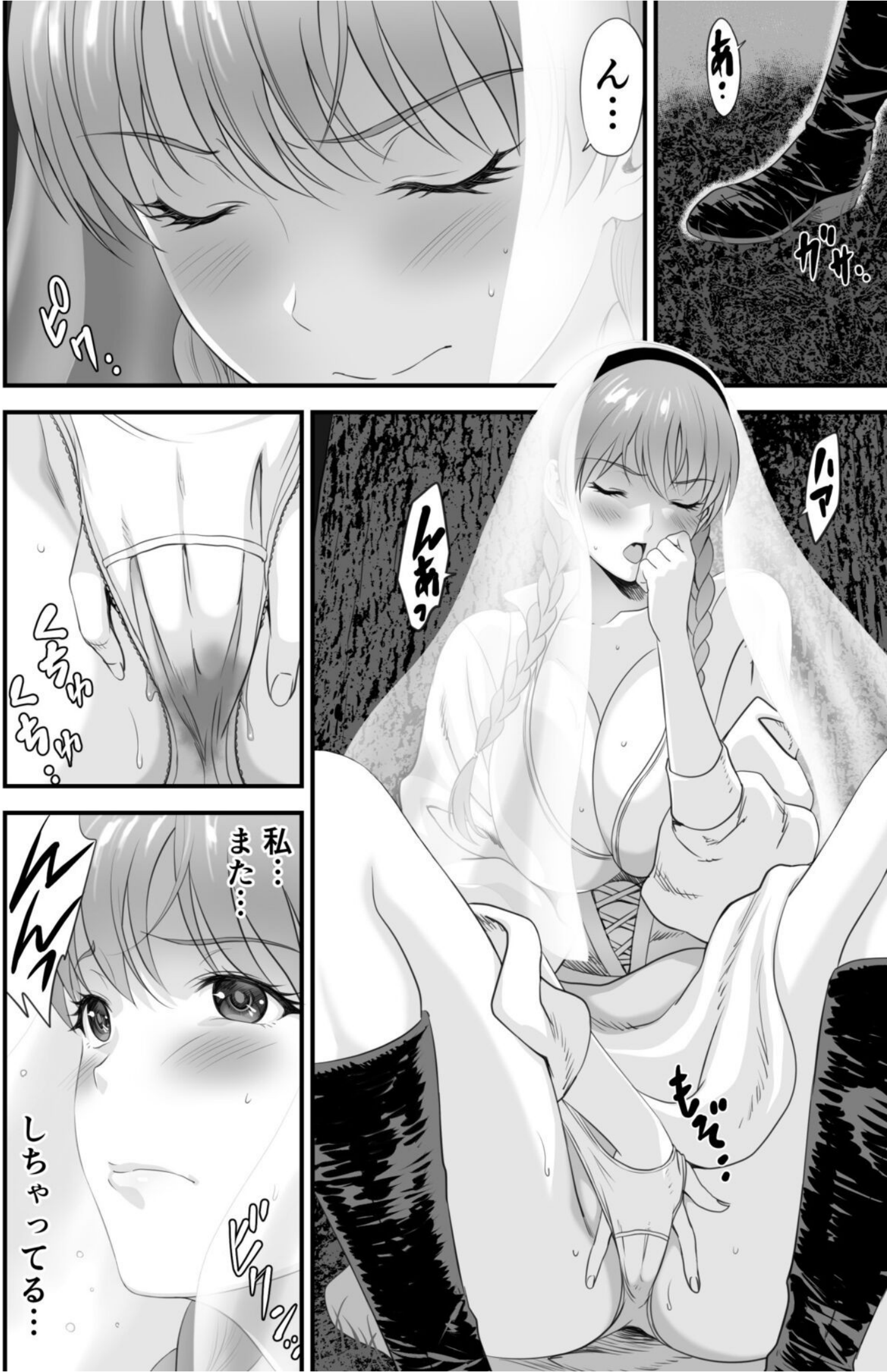
行こう
あ…

……

トクン
トクン…






あ…
ガサ…
ん…
ビク…
ハァ
んあっ
もぞ…
ムちゃ
ムちゃ…
私…
また…
んんっ
しちゃってる…
ビクッ…

もうしないと誓ったばかりなのに…
私また…ハリーでしちゃってる
…ハリー
ハリー…！

はぁ…ん！
ビクビクッ
…このままじゃ
バ
バ
バ
私…

今夜は星がよく見えるなぁ
ヒョイ
ドキンッ!!
!!

カルロスっ…!?
ガバッ

なっまさっのぞっ…!?
オイオイ人聞きの悪いこと言うなよ
ザザ…
ザッ
ザッ
ザッ

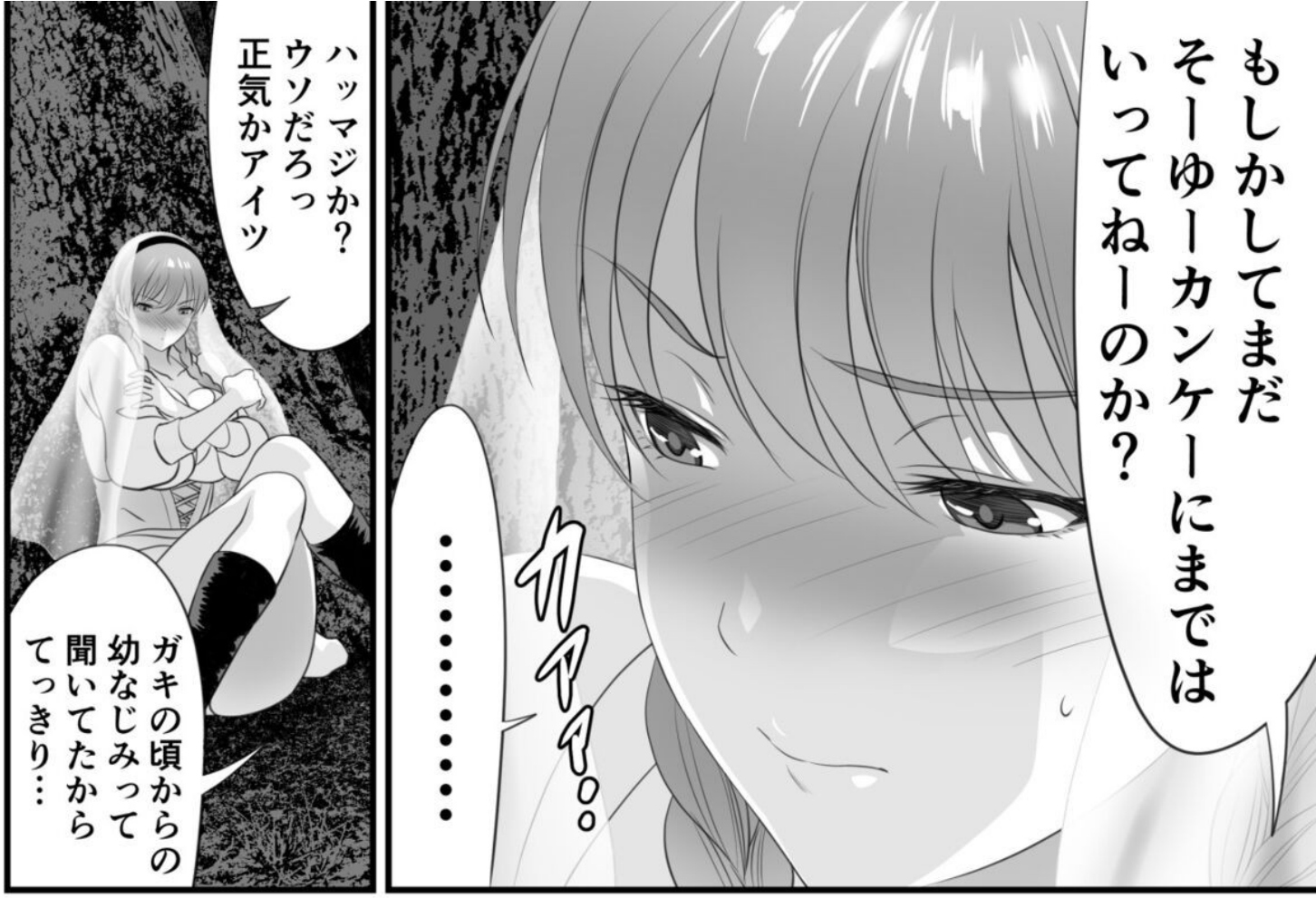
ションベンしたくなって起きたらお前の姿が見当たらねぇ
すると茂みの向こうから何とも色っぺぇ声が聞こえてくるじゃねぇか

そりゃ確かめに行くしかないだろ？
キッ
…最低…
あなたのそういう所本当に嫌いだわ…！
フッ

…てかお前何で一人でシてんだ？いるじゃねぇか相方がよ
いいんだぜ？オレに気を使わずにやってくれてもよォ

なんなら三人でも
ふざけないでもうあっちに行って
プイッ

…前々から気になってたんだけどよ
お前とハリーって付き合ってんだよな？


もしかしてまだ
そーゆーカンケーにまでは
いってねーのか？
カァァ。。
・・・・・・・・・・
ハッマジか？
ウソだろっ
正気かアイツ
ガキの頃からの
幼なじみって
聞いてたから
てっきり…

いい加減にして
ハリーの悪口は
言わないで！
まさかアイツ
勃たねぇとか…
だからお前
ひとりで慰めて…

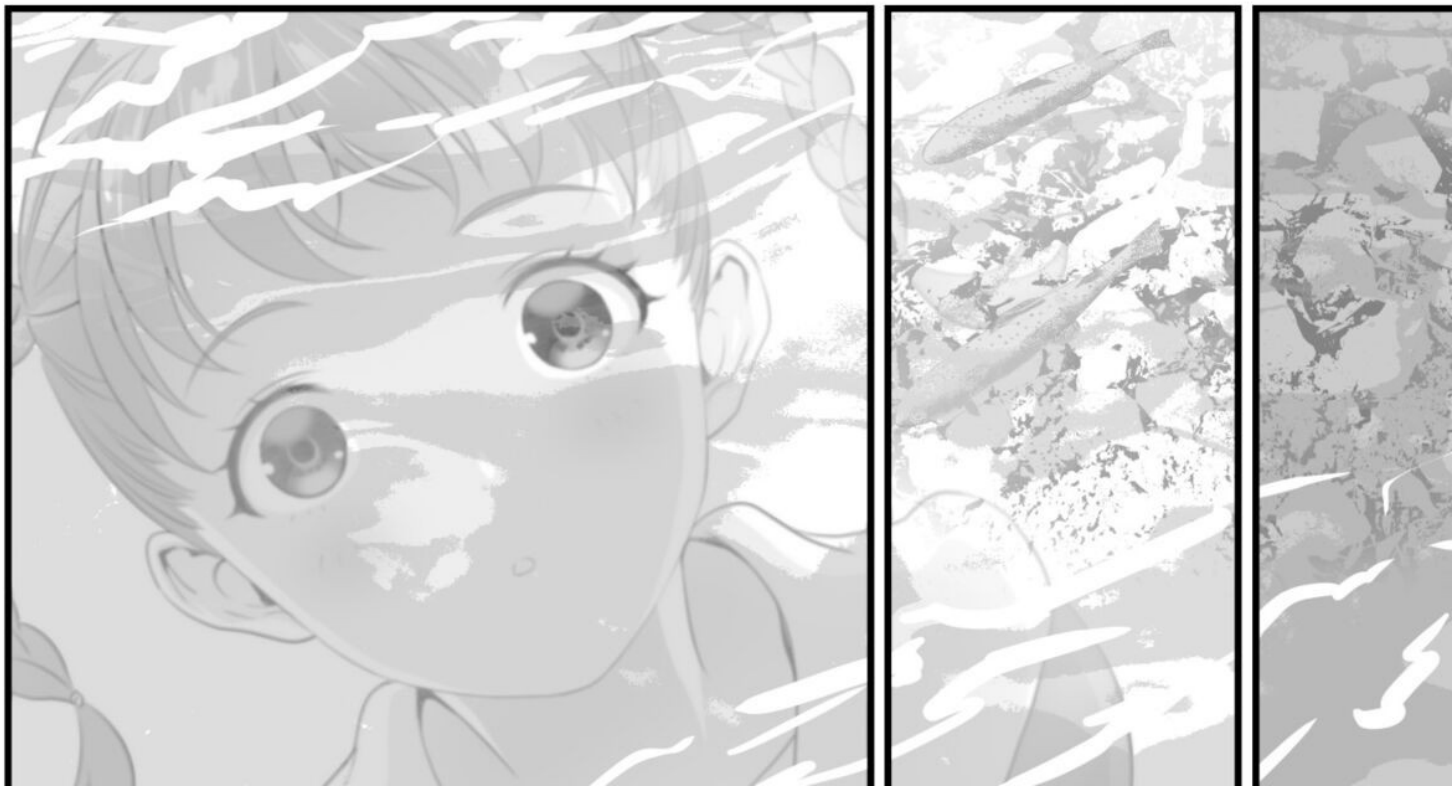
やめてったら！
ハリーは真面目で
優しくてっ正義感が強くて
だから…っ
だから魔王を
倒して世界を救う
…ってか
耳にタコができるほど
聞いてるよ
アイツの口グセ
あーなるほど
そうかそーいう
ことか
ハリーは…
あの勇者サマは

お前後回しにして
勇者よろしく「世界平和」
ってやつを優先させて
いるわけか
それが叶うまで
お前はお前で
健気に意地らしく
待ってんのか
何てこった
お前ら二人共
どうかしてるぜ

うるさいうるさい
うるさーいっ
もォ黙ってて!!
おいっミリア
どこ行くんだ
ひとりに
なりたいのっ
これ以上あなたと
話していると気が
おかしくなるっ
絶対に
ついて
こないでっ
……

パシャ
パシャ

ふう…
やっと
落ち着いた
パシャ。
…なんて顔
……
チャプ。



ねーホントに
やるつもりー？
当ったり前さ！
ぐいっ
パチャ
見てろミリア
デッカイのを
捕まえてやる
からなっ

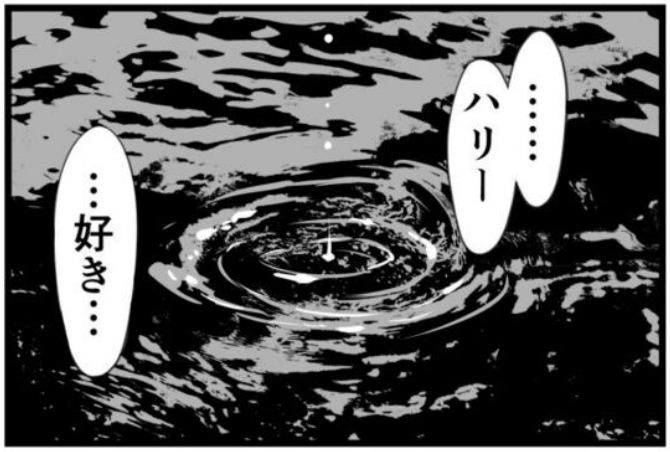
お魚さん手で
捕まえるなんて
やっぱ無理だと
思うんだけどー
ふー

できるさっ
魔物をやっつけるのは
まだ無理だけど…
僕は勇者に
なる男なんだ！
魚くらい手で
捕まえてみせるっ

もー
うおお
おおっ
深い所
行かないように
気をつけてねー
バシャ
バシャ

チャプ…

ふふ…結局あの後
一匹も捕まえられ
なくて…
私は覚えたばかりの魔法で
たき火までして待っていた
のに…
二人でおなか
グーグー鳴らしながら
帰ったっけ
ふふ…今思えば
何で魔物は無理だから
魚を手で捕まえるって
発想になるのよ


……
ハリー
…好き…

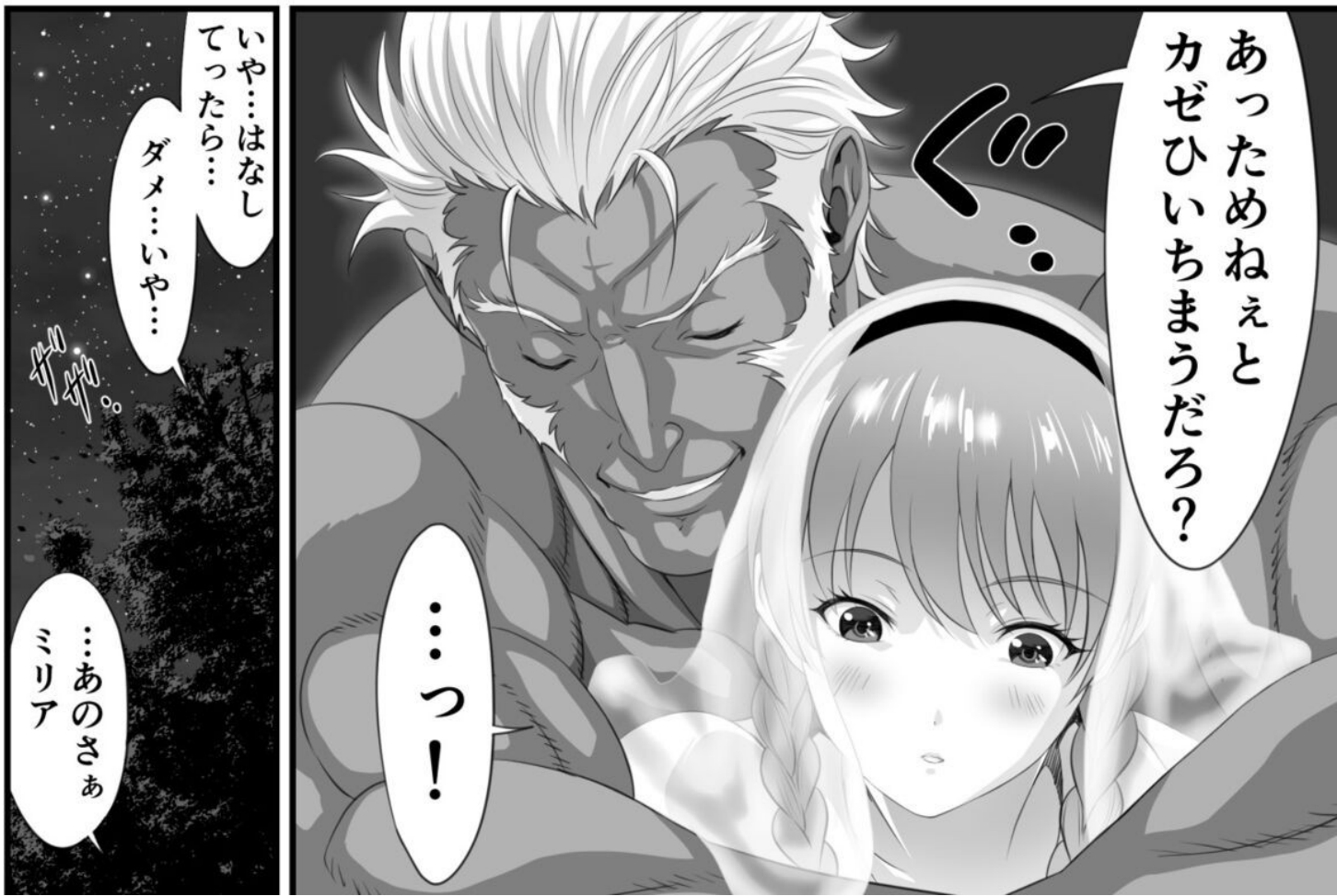
ホント子供…
今でもそんな所
あるし
……

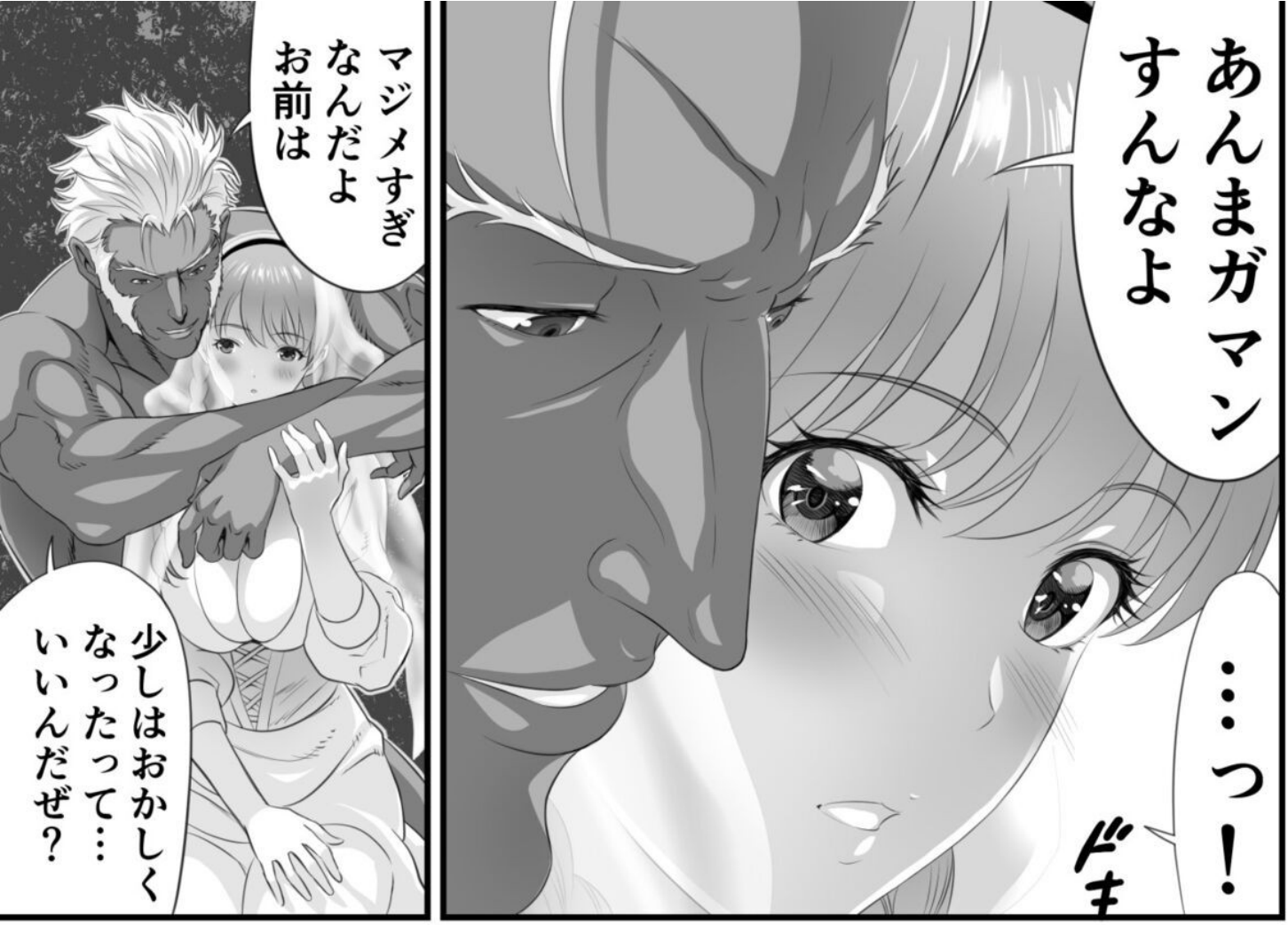
好きだよ…
ぐ…
ずっと好き…
…だけど…
もう…私
もう私…
「好き」だけじゃ
もう…!!

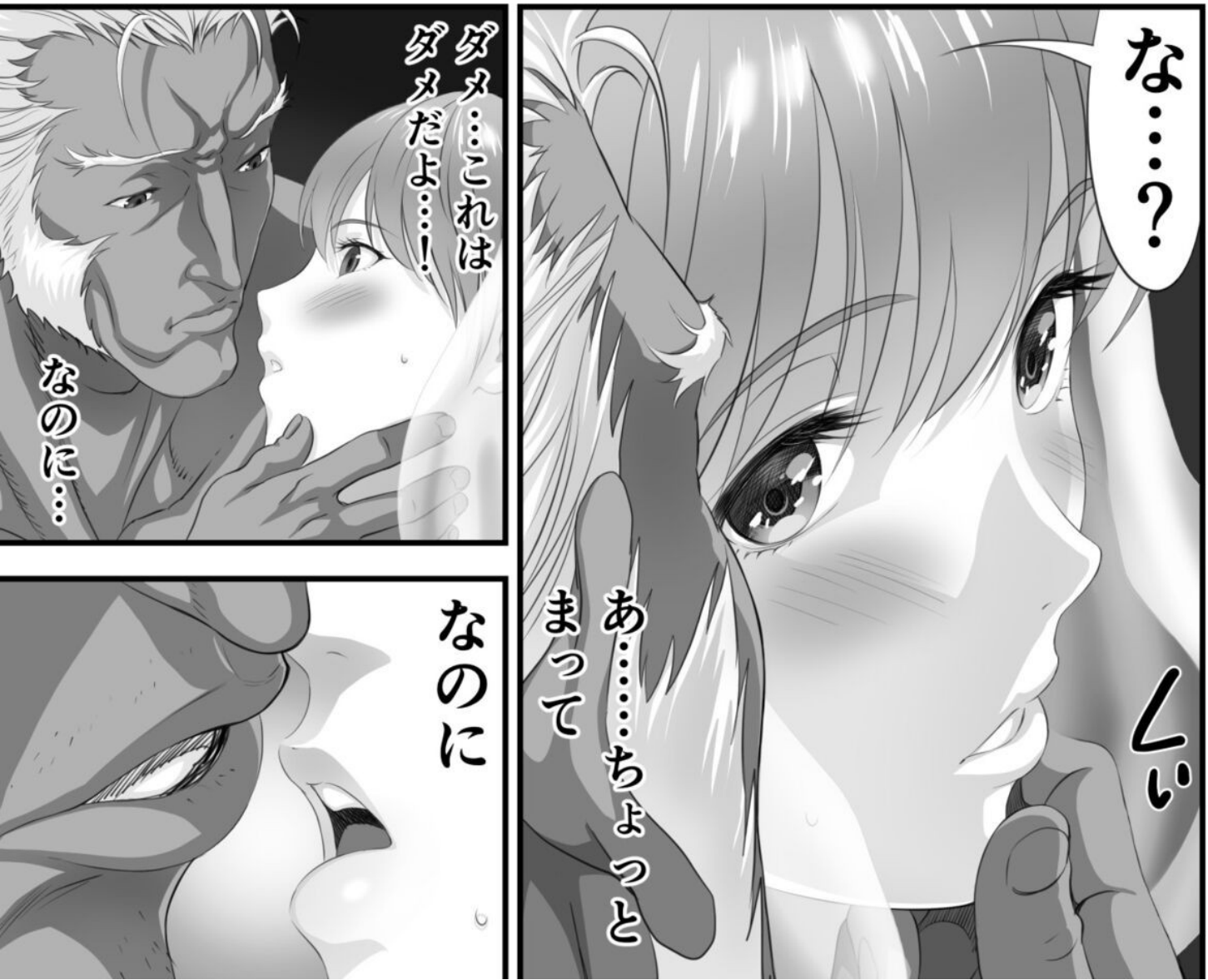
夜風にあたりすぎだぜ
ミリア

カル…ロス…

はなしてよ…
ついてこないでって言ったじゃない…
はなさねぇよ
ほらこんなに冷たくなっちまってる

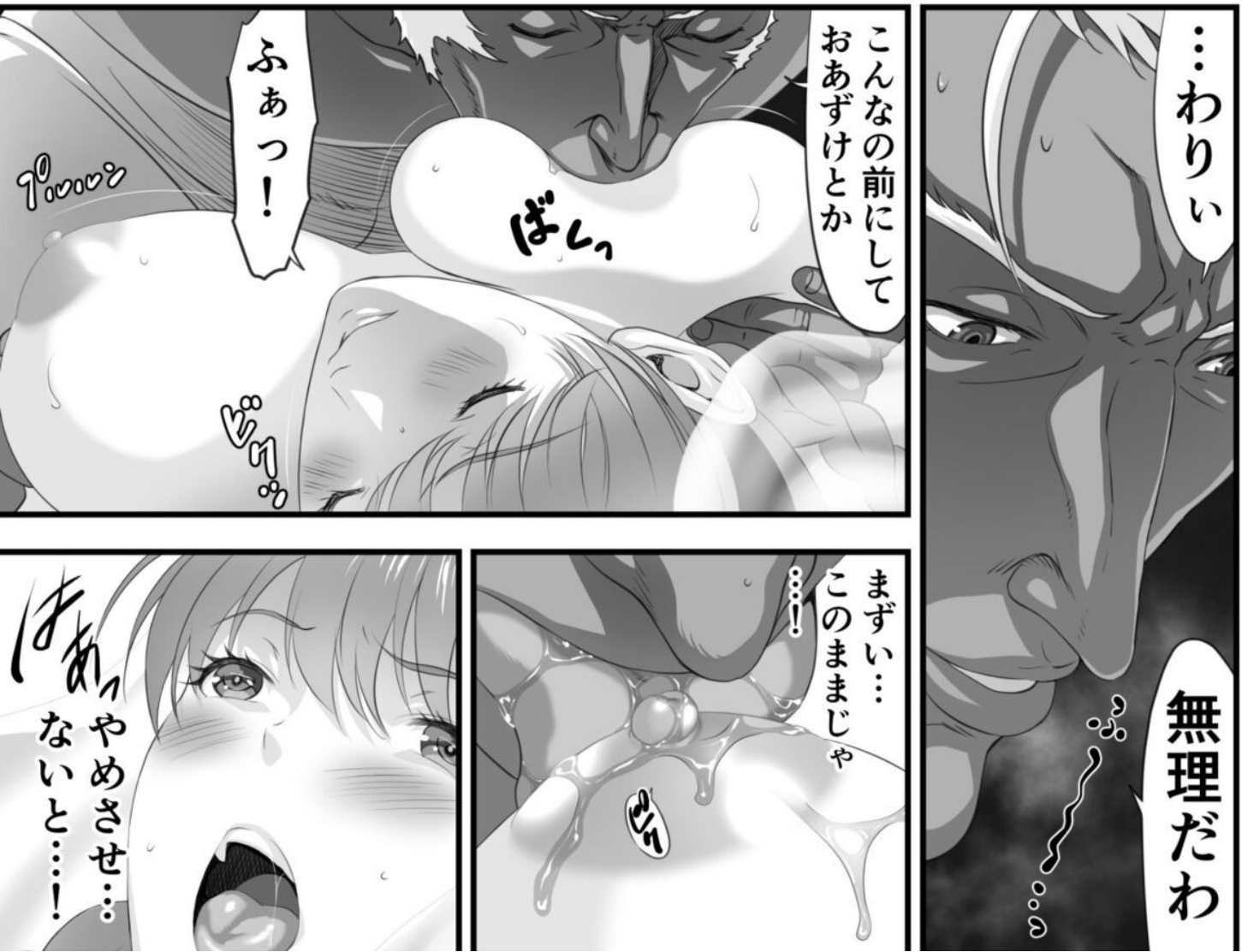

あったためねぇとカゼひいちまうだろ?
…つ!
いや…はなしてったら…
ダメ…いや…
…あのさぁミリア


あんまガマンすんなよ
…っ！
ビキ
マジメすぎなんだよお前は
少しはおかしくなったって…いいんだぜ？


な…？
い
あ……ちょっとまって
ダメ…これはダメだよ…！
なのに…
なのに

なのに——

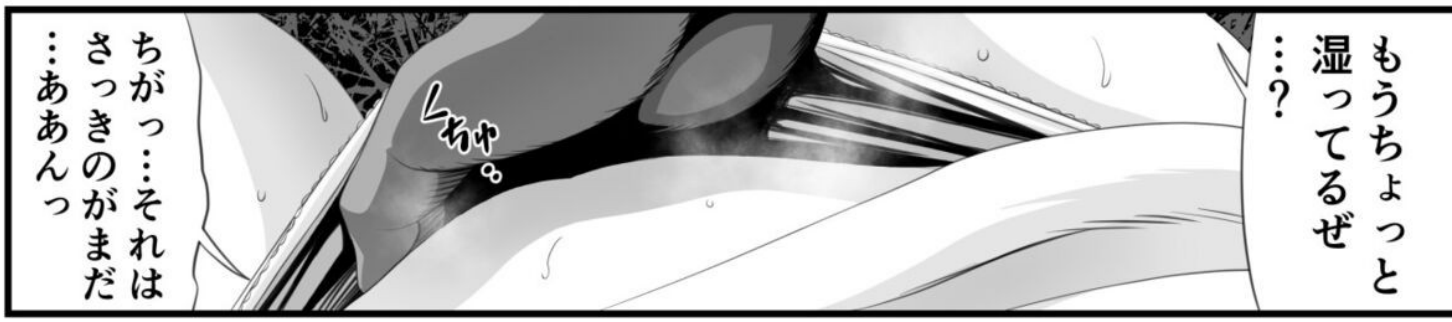
チュッ
チュッ

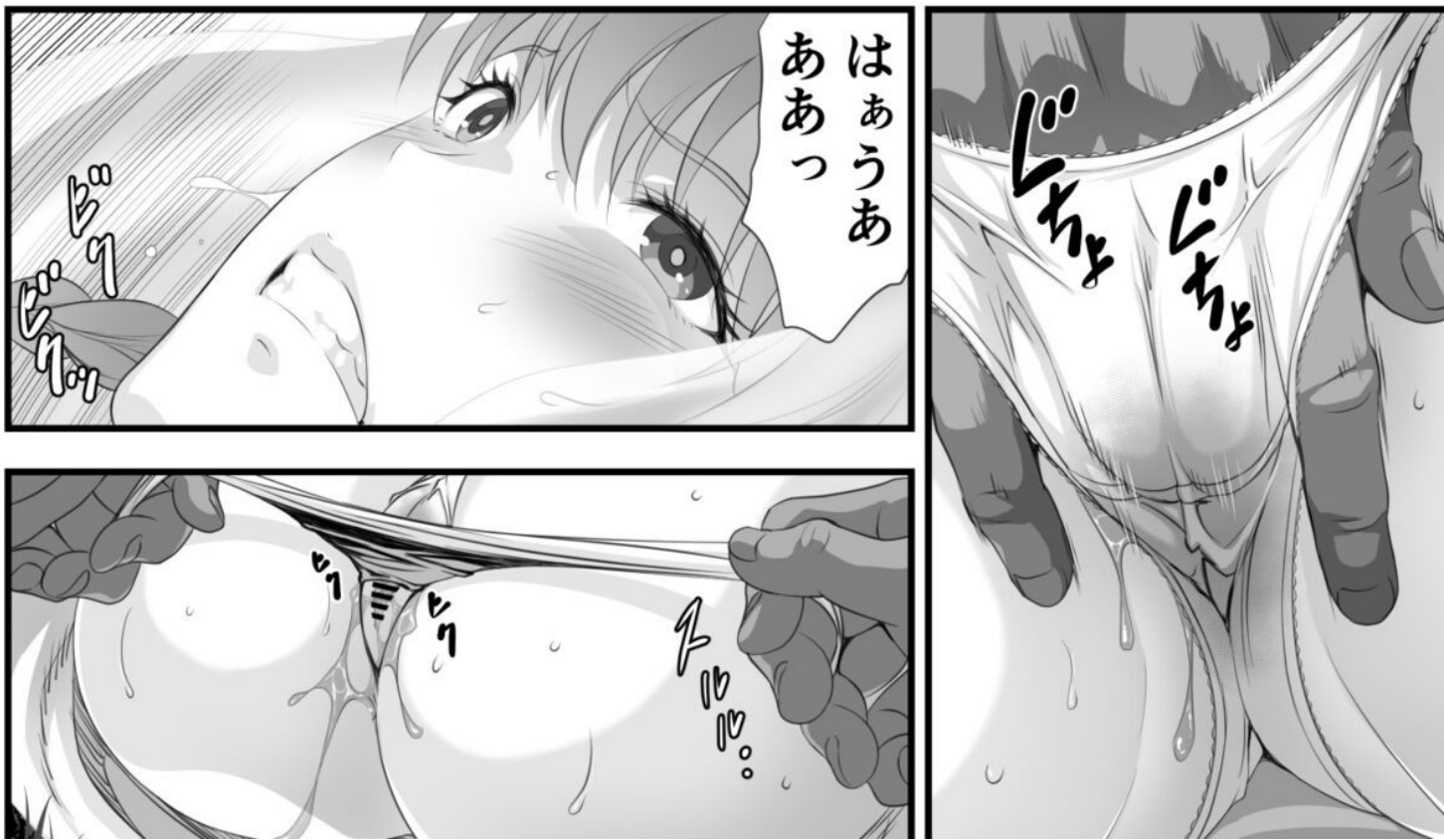


ハァ…ハァ…
やめ…て
ハァ
ハァ
ぷるんっ
ブチッ
カル…ロス
……!!

…わりぃ
無理だわ
ふ〜〜…
こんなの前にして
おあずけとか
ばしっ
ふぁっ!
プシッ
ビクッ
まずい…
このままじゃ
…!
ビク
はあっ
やめさせ…
ないと…!

ひぁっ!?
あっソコはダメッ…!


もうちょっと湿ってるぜ…?
ちがっ…それはさっきのがまだ…ああんっ


はぁうあああっ

ひああっ
がばっ
ピチャ
ペチャ
そんなトコ舐めちゃダメぇっ
すっげーキレイなマンコ…
ぬら
ぬら
んはぁっ!?
チャプ…
ペロ
ギュル
レロ
ジュ
ペチュ
…きっ
ヒッ
気持ちイイっ…!

はあ…
はあ…
ぐったり…
ヒク
ヒク

いい具合にほぐれてきたな…
ペロ

それじゃあそろそろ…
ボロン…
ズル

!!
ギクッ

ダメッ
ササッ

それだけは…
きゅ…!!
ダメッ…!
ビクッ
ビクッ

…そりゃねーだろ
ここまできてよォ
ダメ…カルロス

……
ふー…そうかよ

お願い…だから
カルロス…！
はあ
はあ

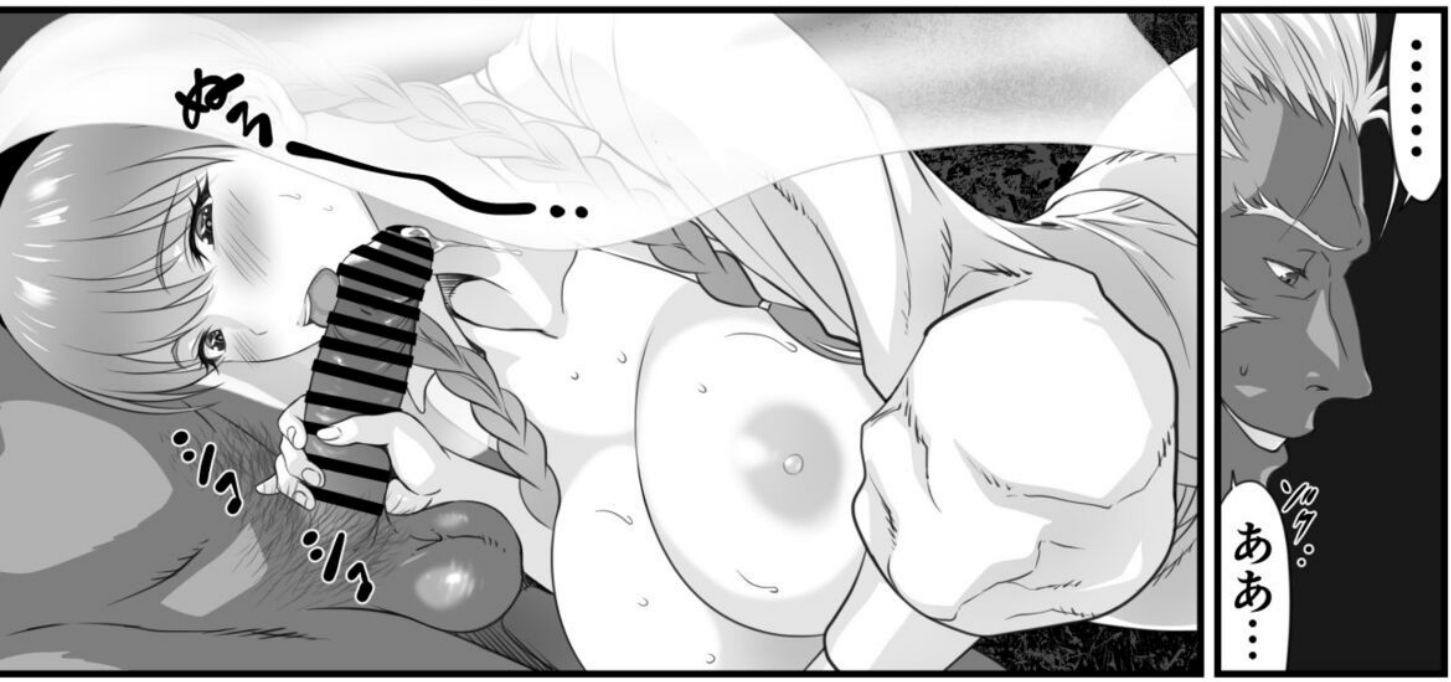
あーでもこれじゃムラムラして眠れねーな
はあ～～

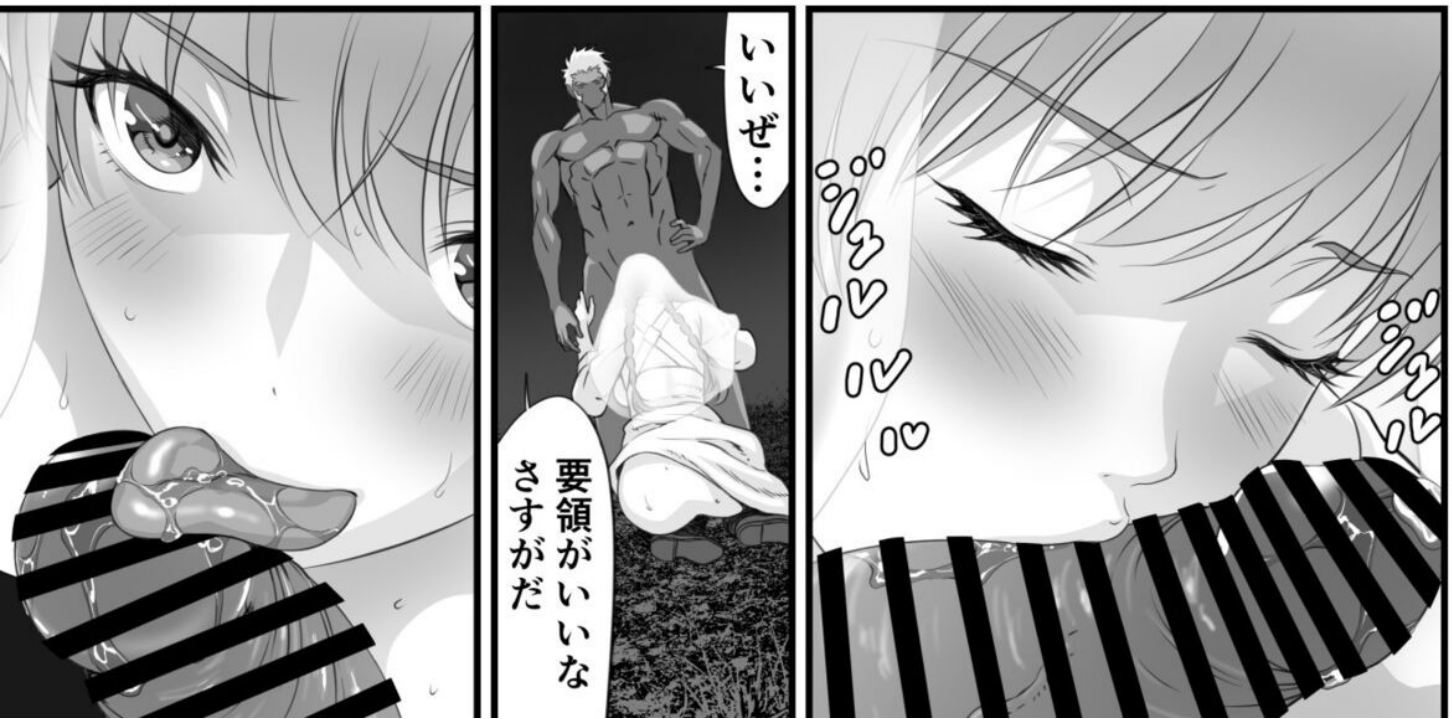
分かったそこまで言われて無理矢理ってのもな
はあ…
ぷりぷり
…ごめんなさい…

チンポこんなんだしなぁ
ギン
ギン

ピクッ
……

なあ小さくしてくれよ…口で
その位ならいいだろ？
えっくっ口っ…!?
ドキッ
ホラ
キャッ
ずいっ
ビキ
ビキ
……っ
ビクッ
ビクッ
間近で見るとスゴイ…
ドキ
ドキ
ドキ
これがオチン…
れ…
……





これで…
おわりに
して…よ

ペチャ…

……

ああ…

ぬろ〜〜…

ジュ

ジュ

ジュル

ジュル

ジュル

いいぜ…

要領がいいな
さすがだ

咥えてくれ
……
はむ
じ…

うあ…マジ
たまんねぇよ
ミリア
ジュポ
お前がオレの
チンポしゃぶって
いるなんてな
ジュポ

こんな…こんな
大きなのを私…
口の中に…
ゲホ…

…あの時の
女の人…
ぐぽ
ぐぽ
コレをアソコに
入れて…

…コレが
もし…
もじ
もじ
もし私の
…アソ…コに…

うあっヤベッ
ミリアっ
ガポ
ガポ
ガポ
イキそっ
んんっ
ベチャ
ベチャ
ビクッ
ビュッ

…これが
ハァ
ハァ
ハァ
精…液
ハァ
ハァ
ハァ
ドロドロで…
クンクン
すごいニオイ

…あれ？
ドッ
ドッ
ハァ
ハァ
ドッ
ドッ
ドッ
どう…しちゃったの
私……
ぐぐっ

ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
鼓動が…
どんどん激しく
なってく…！

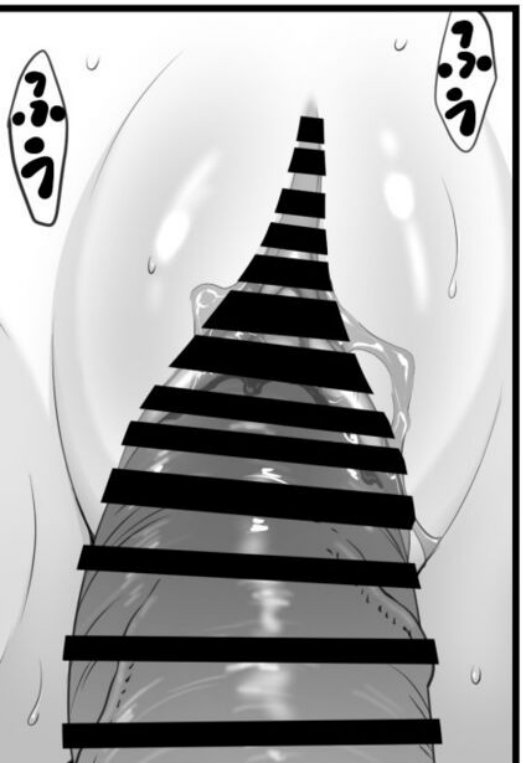
…全然小さく
なってないじゃん…
ビィィィィン

コレが…
ぐ…
じゅわ。
私の…
ミリア
ビクッ
!!
どうした？
大丈夫か
カル…ロス
私…
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
私…っ

私…
したい…
ガガ。
ハア
ハア
綺麗だぜ
ミリア…

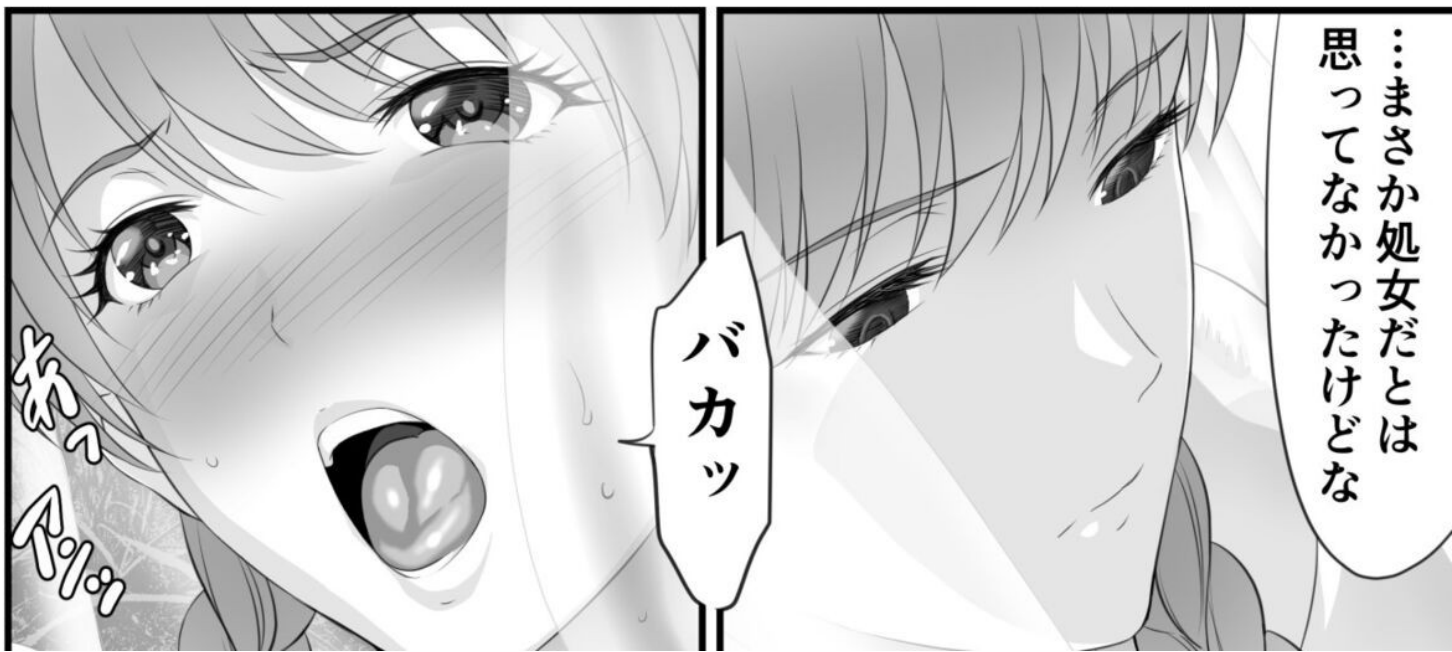
ぐ…
ぬっちゃ
ぬっちゃ
心配すんな
最初ちょっと
痛むかもしれないが
すぐに
気持ち良く
してやっから
ドキ
ドキ
ん…

じゃ…
いくぞ
ビクン
んんんっ


ふう
ふう

ハリー
ひぎっ…
ごめん…
なさい…

クソッタレ王に
呼び出されて
城で初めてお前を
見た時から
ずっと抱きたいと
思っていた
ああ…
たまんねぇよ
ミリアっ
アッ
ンッ
プル
プル
ズッ
プ
ズッ
プ


…まさか処女だとは
思ってなかったけどな
バカッ
あっ
アッ

ちょっと
ペース
上げるぜ

ズププ

ひぁ

ぷる

ちょっ…

…ハリーよォ

ああっ

あああああ

オレはお前に対して
まったく罪悪感は
抱いちゃいねぇぜ

ブプッ

お前がいつまでも
チンタラしてたから
オレがいただいた

ただそれだけの
ことさ

ベチャ

ベチャ

ん…

ん…

どうだミリア？
ドンッ
ドンッ

ひとりでするよりずっとイイだろ？
ズクッ
ズクッ
はあっ
ビクッ

ズチュ
ズチュ
…イイっ

そんなこと…っ

あっ
やっ
気持ち…
イイっ
ぶるん
ぶるん

…突いてっ
…バカ…
みたい

なんかバカ
みたいっ
もっと
突いてっ

…私とハリーは
こんな気持ちイイことを
ずっとガマンしていたの

バカっ
うるさいっ
それをバックに
オレの上でよがっている
お前はもっとキレイだぜ
ズポ
ズポ
ズポ
ズポ

今夜は星が
綺麗だなぁ
アッ
ヤバ

こりゃあ逆に
ハリーには感謝
かもな
くっ
くっ
くっ

今までの
溜まりに溜まった
うっぷんが
一気に爆発
してるって感じ
だな
ズン
ズン

お前の
優柔不断が
コイツをこんなに
淫乱にした
イッ
ッッ
ぐちゅぽっ
ぐちゅぽっ
ぐりん
ぐりん

せっかくだ
最後まで気持ち良く
イカせてもらうと
しようか
ミリア…っ
ズンズンズンズン

ありがとよ
はっ
はっ
はっ
はっ
サイコーに
気持ちイイぜ
ぼるん
ぼるるん

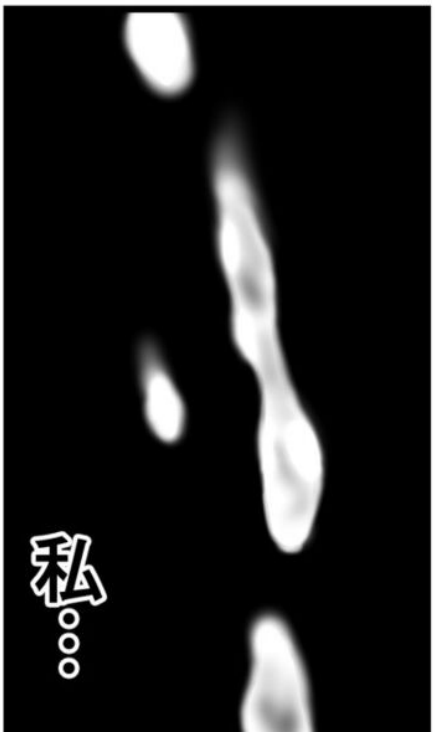
出すぞっ
ズン
うんっ…
えっ？

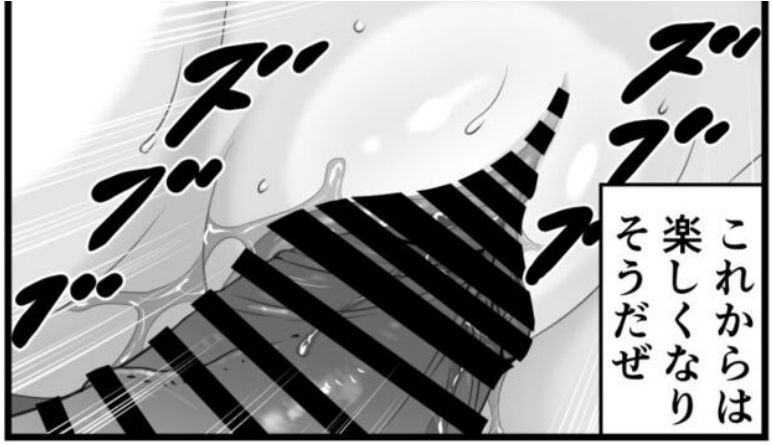
は…？
あ…
え…？
あー…ヤベ
スッゲーいっぱい
出たぁ～
マジ気持ち
イイ～～～
ドクン
ドクン…
……
ぶるるっ
ずるり…
ドロォ…
……

……
…最悪なのに

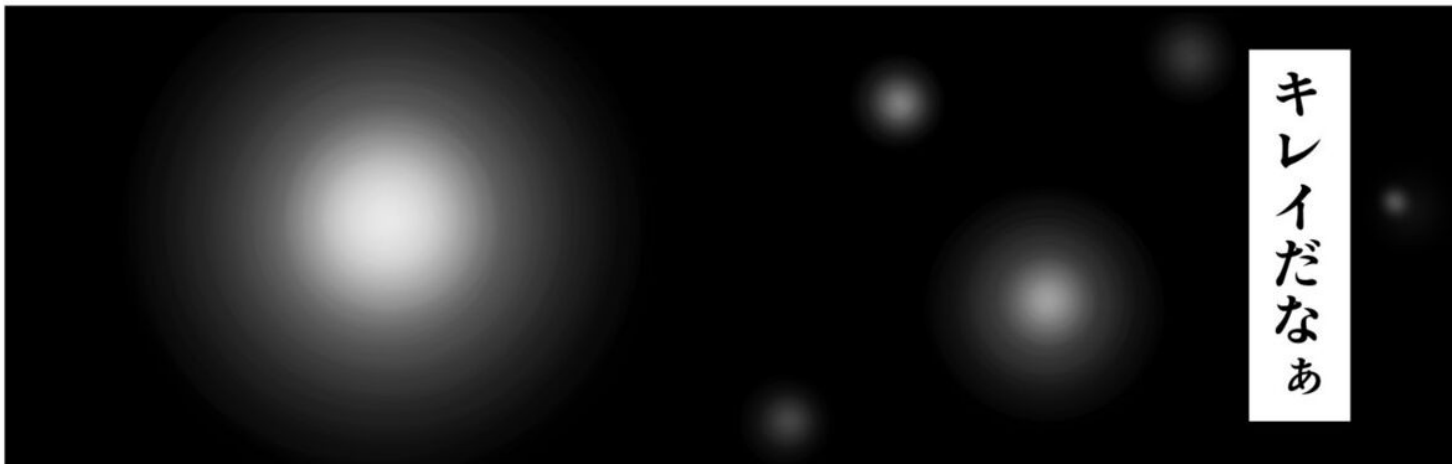
もっとオマンコにオチンポ入れたいと思ってる…
…最低なのは…
私……？

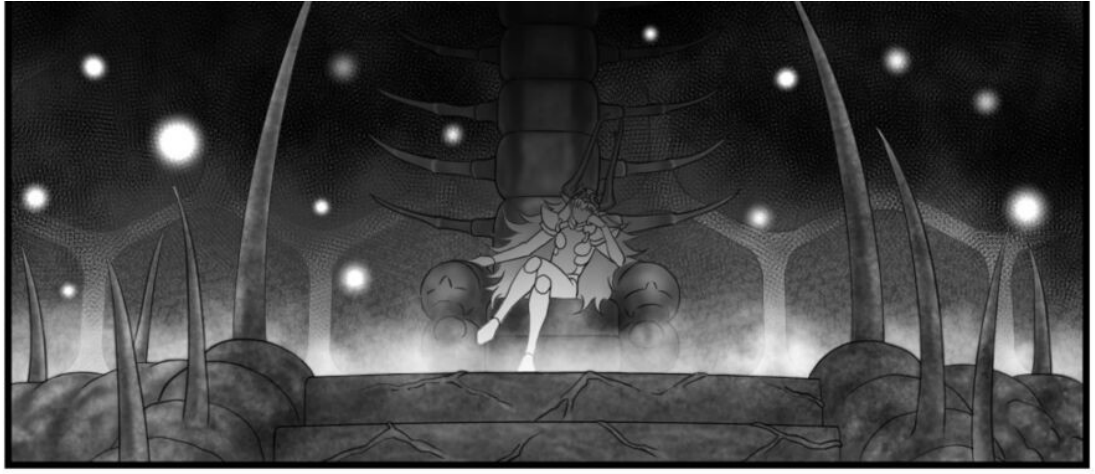
こんな最悪なことされているのに私


私…


魔王城まで
まだまだ先は長い
今までは退屈な
旅だったが
これからは
楽しくなり
そうだぜ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

しかし…
本当に今夜は
星が――


キレイだなぁ



カッ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

退屈じゃの…
ここ百年程実に静かなものじゃ

ふぁ…いかんのぅ
トローン
年を取るとどうにも眠りが早く…

ん…
久々に――夢を見た

イケイケでブイブイいわせていたあの頃の魔王(わし)を――
三百年前の魔王

弱いっ弱過ぎるぞ
下等種族どもォ!!

ばるん

ザッ!

この魔王に!

その程度の力で挑んでくるなど笑止千万!!

ホレホレどうした!? 五十年前に挑んできた連中の方がまだ気骨があったぞ!

ぬは

は

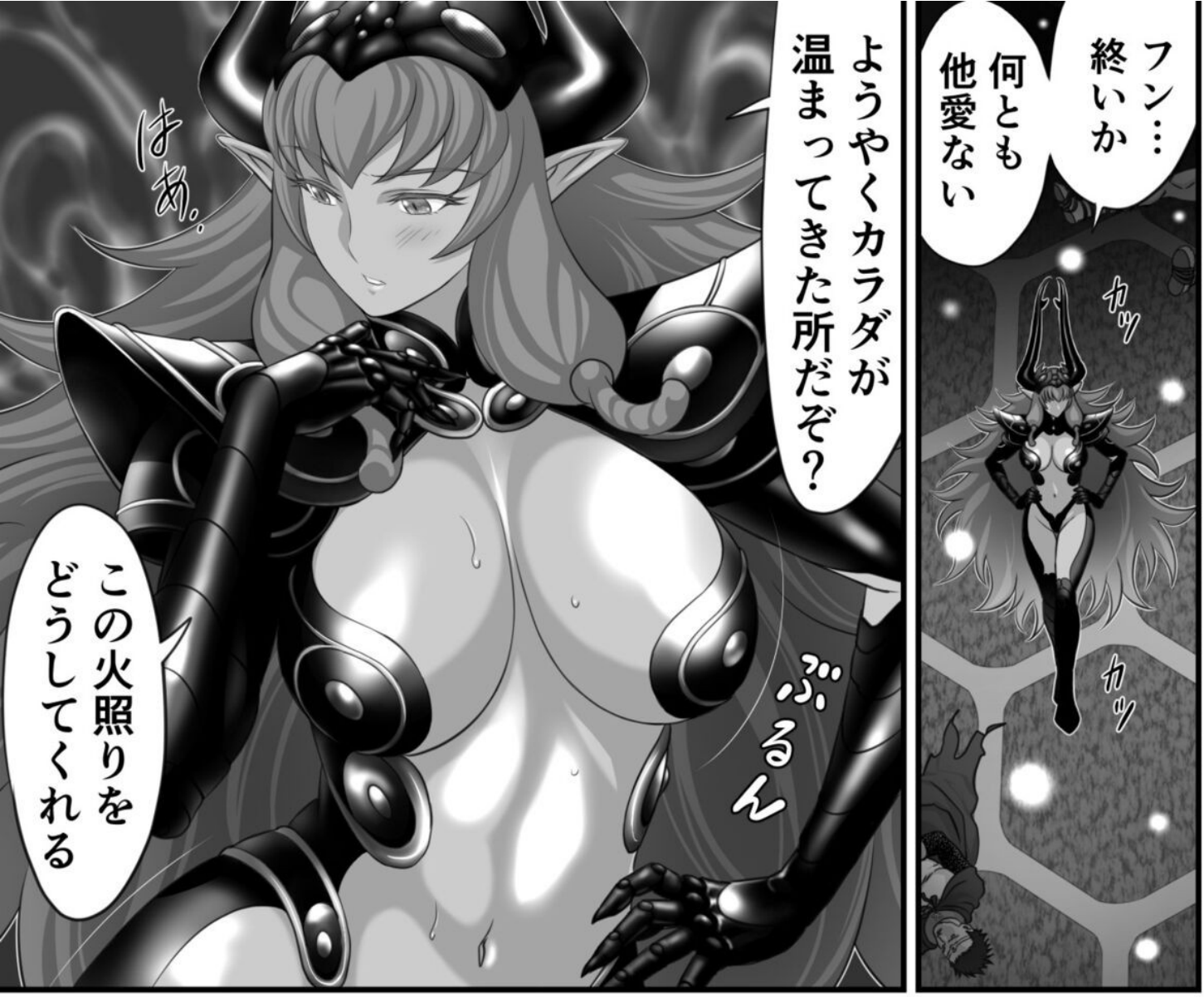
は

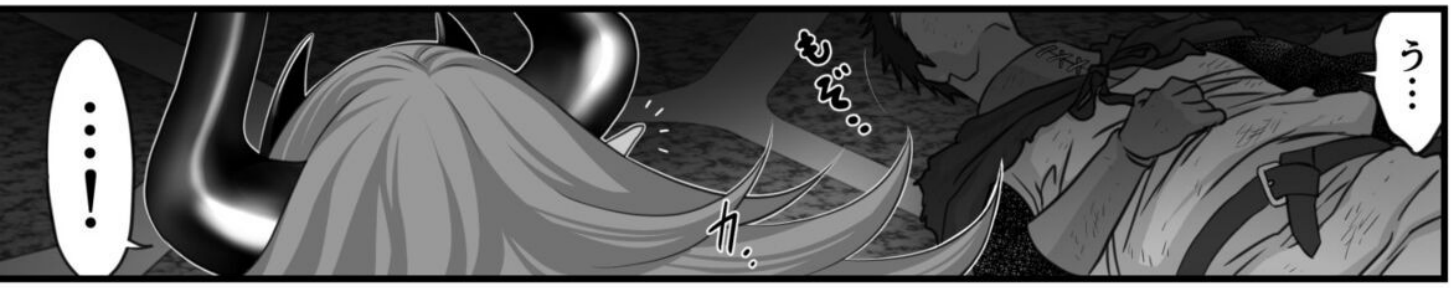
もっとわらわを昂らせてみよ!!

は

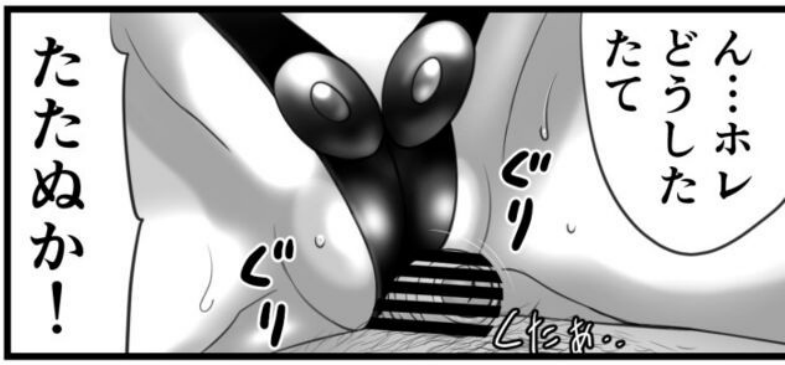
は

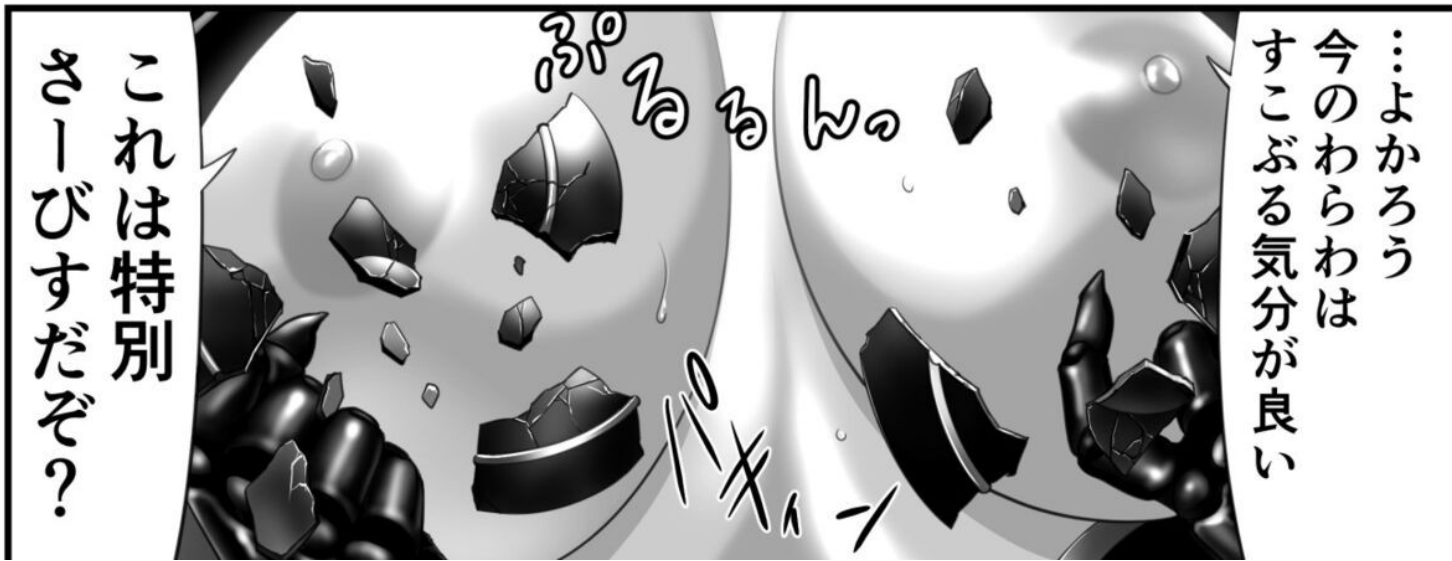
……





フン…終いか
何とも他愛ない
カッ
カッ
ようやくカラダが温まってきた所だぞ？
はあ。
ぶるん
この火照りをどうしてくれる
う…
もぞ…
カ。
…！
うう…
はあ
ほう…まだ息があったか
はあ
じ
フム…
ピタ
フムフムフム
フ…多少でも昂っていると
ちゅぱ…
馬鹿な戯れをしてみたくなるものだな





どれ…息絶える前に今一度命の火を灯せ

わらわの火照りを鎮めてみせよ

ん…ホレどうしたたて

たたぬか！

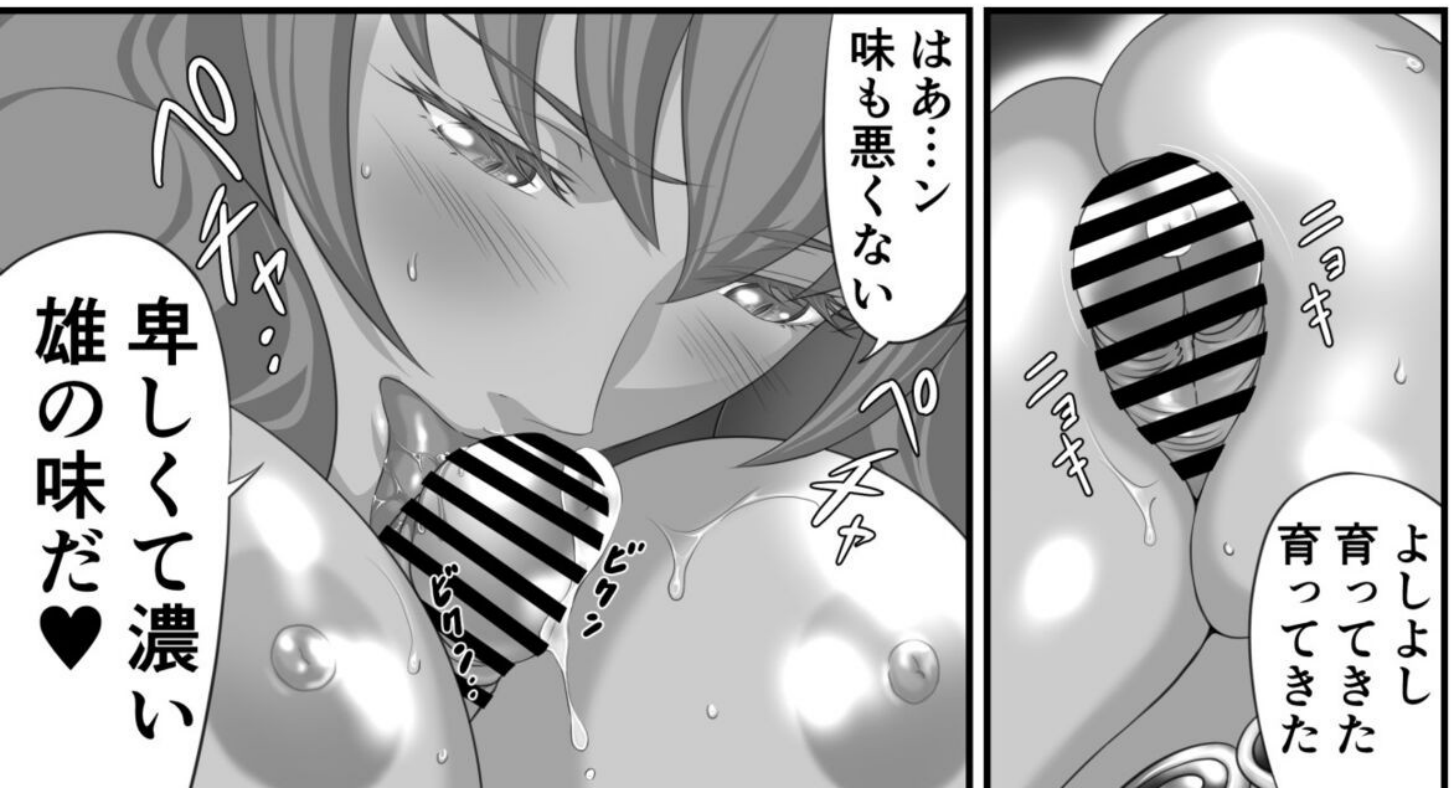
…なんと不甲斐ない

それでも雄（オトコ）か!!

…よかろう今のわらわはすこぶる気分が良い

これは特別さーびすだぞ？

よいしょっ
ホレどうだ？
そしゅむっ
冥途の土産には
贅沢すぎるぞ♥
うっぐぐ…
んっふっふっふっ


よしよし
育ってきた
育ってきた
はあ…ン
味も悪くない
卑しくて濃い
雄の味だ♥

…やりよる
ドロォ…
この魔王に一矢報いるとは
ぺロ…
ほう…まだ刃は折れてはおらぬな
その意気やよし
ならばわらわも応えよう
パキーン

ぬっほほうっ
ぼるんっ
ぼるんっ
なるほどこれはっなかなかどうしてっ

うっがはっ

おいおいこら入れたばかりだぞ
まだいくなよ！

こっちの勝負くらい漢を魅せてみよ!!

んっハッんふふったまには
人間の雄のチンポというのも
悪くないっ
あっ
アンッいいぞっ
そうだ燃やせっ
ズッ
ズッ
ズッ
グキッ
お前の命を
もっと燃やせっ
ちと小ぶりでは
あるがのっ
ズポン
ズポン
ズポォン
ドンッ
ドンッ
ドンッ
ぬはははは

そうだ！
もっとだっ
はい
はい
はい
その命
尽き果てるまで
わらわを
愉しませよ!!

!
ボォォ
うう…
淫乱魔王…
プルプル
め…
ガク…
無粋なマネを…
ぷるる
ぬるいわ
ん…？
逝ッたか
フン…興が醒めたわ
ん…
じわ…
ぬぽん

つまらぬな

はあ。。

ブプッ

所詮エサ止まりの種族…か

……フガ

ビクッ

じゅる

ふあ…いかんいかん

ん――…っ

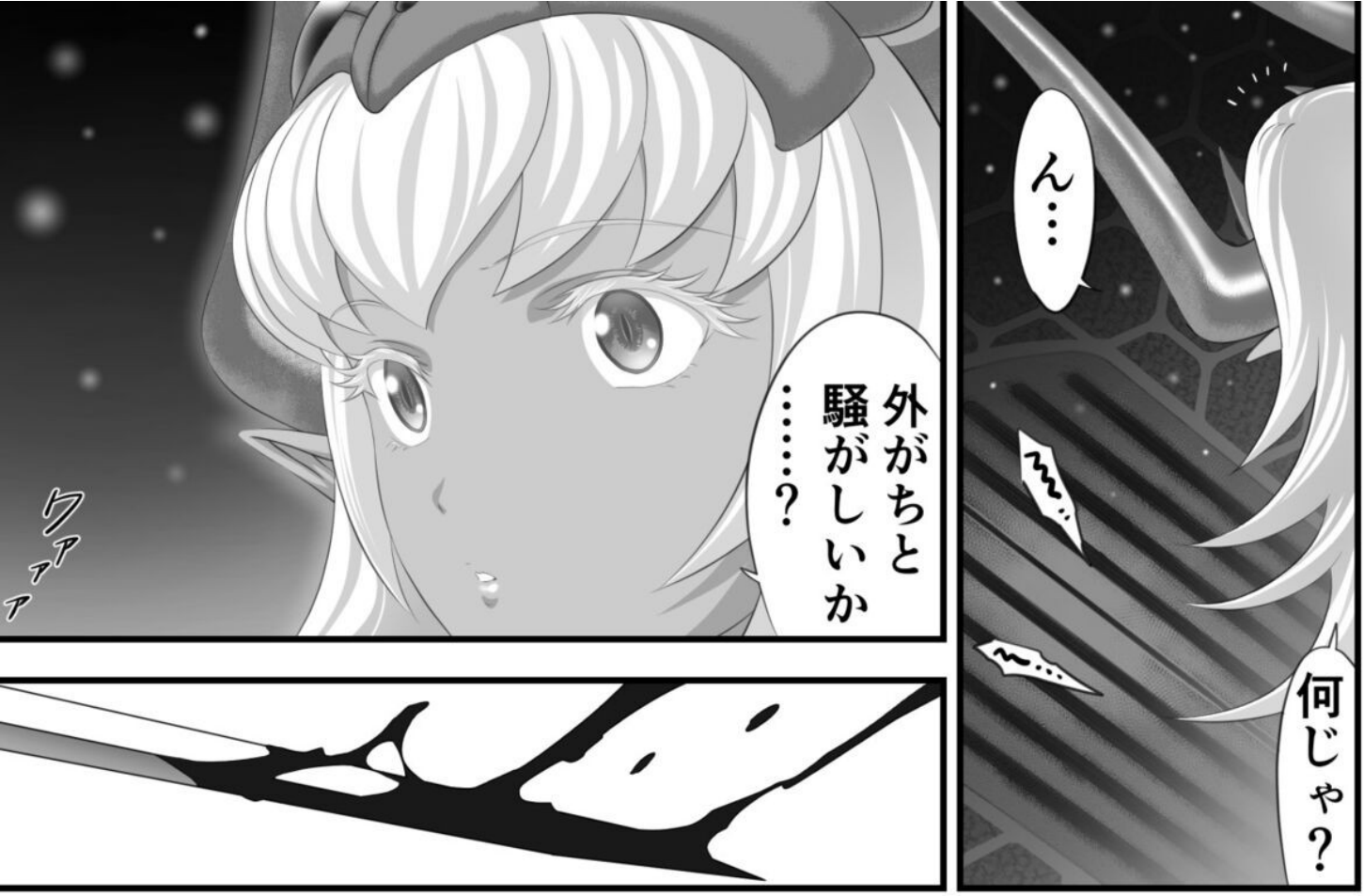
うたた寝のつもりが随分と寝入っていたようじゃ

フ…今更あんな昔の夢を見るとはな

…色々と若かったのぅ

…諸行無常…か

衰えたものじゃな…


何じゃ？
ん…
外がちと騒がしいか……？
クァァァ